

大盛り上がりの玉入れ大会! ～北海島まつり(鴛泊会場)～

議会だより

制限
福祉

定例会6月会議

平成26年度一般会計補正予算などを可決

..... 2～5

2議員が一般質問

..... 5～7

行政報告 利尻空港の利用状況など 4件

..... 8

議会報告・意見交換会での
意見要旨

..... 9

平成26年10月

NO164

定例会6月会議

一般会計と 港湾整備事業特別会計の補正予算を可決

定例会6月会議は、6月20日に開催されました。

2人の議員が一般質問を行い、専決処分の承認を求めると、補正予算、条例の一部改正などが提案され、慎重な審議の結果、いずれも原案どおり承認・可決しました。

平成26年度補正予算で追加した主な事業

【一般会計】

- 自治会館等整備事業補助（野塚バス停、南浜自治会館）・・・153万8千円
- プレミアム商品券事業補助・・・・・・・・・・420万円
- 利尻高校商業科校外活動補助・・・・・・・・・・26万5千円
- 鬼脇教職員住宅の解体・建設等工事費・・・・・・・・・・2251万円

【港湾整備事業特別会計】

- 海の駅おしどまり火災通報装置、防犯カメラ設置工事費・・・・・・・・83万3千円

専決処分

▽利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正の承認を求めるとについて

〔主な改正点〕

- ・ 地方法人税の創設に対応して、法人税割の税率を引き下げ（平成26年10月1日施行。施行日以降に開始する事業年度から適用）。
- ・ 軽自動車税の税率の引き上げ（平成27年4月1日以後の新規取得車両から適用）。
- ・ 一定年数を経過した3輪以上の軽自動車に対する（経年車重課）規定の新設（平成28年4月1日から適用）。
- ・ 税率等の適用区分と経過措置規定の整備。

原案承認

▽平成25年度一般会計補正予算（第7号）の承認を求めるとについて

〔補正内容〕補正額1億3077万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ42億260万1千円とする。

原案承認

▽平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

の承認を求めるとについて
〔補正内容〕補正額12221万5千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億5790万4千円とする。

原案承認

▽平成25年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）の承認を求めるとについて

〔補正内容〕補正額268万9千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ3億2905万2千円とする。

原案承認

条例改正

▽利尻富士町国民健康保険税条例の一部改正について

〔主な改正点〕

- ・ 後期高齢者支援金等課税額、介護納付金課税額に係る課税限度額の引き上げ。
- ・ 軽減対象となる所得基準額の引き上げ。
- ・ 医療給付費分課税被保険者の均等割額、平等割額の引き上げ。国民健康保険税の減額金額の変更。

原案可決

その他

▽北海道市町村総合事務組合規約の変更について

▽北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

〔変更内容〕

団体の加入・脱退により規約の一部を変更する。

原案可決

▽鴛泊・鬼脇辺地に係る総合整備計画の変更について

〔変更内容〕

鴛泊、鬼脇辺地で実施する事業の追加による変更。

原案可決

▽利尻富士町道路線の廃止と認定について

〔内容〕

鬼脇11号線については、国の港湾施設と重複している部分があるため、一端道路線を廃止し国の関係ある部分を除外し新たに認定するもの。

質疑

Q 久保田議員 国の港湾施設部分を町道から除外することで、車両が通ることには支障がないか。地域の方も感心の

ある道路だと思うので、地域からは要望等なかったか。

A 産業建設課長 国の臨港第一道路、それから道路橋として国から町へ管理委託をしておりまして、道路としての機能はこれまでどおり使えます。ただ、橋の老朽化に伴い通行止めをしており、その対策についても開発局と検討している状況です。

原案可決



老朽化により通行止めとなっている鬼脇道路橋「豊漁橋」

補正予算

▽平成26年度一般会計補正予算(第1号)

(補正内容)

補正額8437万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ39億9137万9千円とする。

質疑

Q 飯田議員 水産振興費に関連して、先日、お知らせ「利尻富士」に平成25年度の離島漁業再生支援交付金の実施状況が掲載されていましたが、鴛泊・鬼脇両集落で行われたナマコ事業の内容と実績を教えてください。さらに鬼脇集落では、ヨレモク等の有効利用研究事業という事で検討したと報告されているが、この内容をお聞かせいただきたい。

A 産業建設課長 鴛泊集落のナマコ移植事業の関係では、鴛泊港内のナマコを1万個採捕し、大磯、湾内に放流しています。放流後の調査については、現在取りまとめ中ですが、以前湾内に放流したナマコについては、2、3年後に相当な水揚げがあったと聞いていますので、効果を期待していません。鬼脇集落については、ナマコの種苗購入という事で、椴山管内の上ノ国町にありますマルハニチロ上ノ国海産というところから種苗を10万個購入し、南浜、鬼脇港、籠養殖実験、二石、旭浜漁港に放流しています。これについても調査結果は現在取りまとめ

中となっています。ヨレモクの関係については、ノナを移植し食庄による駆除をという事で、清川、金崎、南浜のヨレモク繁茂海域にノナを移植しております。その他食品分析センターにて成分分析等有効活用の方策についても調査中ですし、当町の食生活改善協議会にも協力いただき、うどんに混ぜたりパンにしたりもしています。ただ、食べる習慣が無いものを売り出すというのは相当難しいという話も聞いており、この辺が今後の課題になると思っておりますが、今はこのような積み重ねをしている状況であります。

Q 再質疑 鬼脇のナマコ種苗購入については、今後の効果に期待していますが、この事業については先を見越し継続する考えがあるのか再度答弁願いたい。ヨレモクの関係については、本当の効果というものは、ノナの身入りが良くなり、ヨレモクが少なくなつて初めて効果があるものだと思います。去年の秋にノナを移植して今年の夏に採るのではなく、良い事業効果が出るよう、今一度集落との対応などを知らせていただきたい。

A 産業建設課長 種苗購入については、今年度も既にマルハニチロの方で利尻産の親ナマコを使った採苗を行つており、その種苗を購入することで進むと思えます。ヨレモクの関係については、食庄だけでなく、刈取りなどの工夫ができませんかということでも集落とも協議しています。まずは食庄という事で地区によってはヨレモクの繁茂状況に違いはありますが、他の海藻が枯れる時期に生えてくる性質を利用しながらノナの身入りを良くする形で考えている状況ですのでご理解願いたい。



放流したナマコ種苗

Q 飯田議員 鬼脇港区内港の豊漁橋については、現在通行できず非常に不便だという方が何人もいます。開発との

協議がどの程度進んでいるか、また利用可能になるのはいつ頃なのかお聞かせ願いたい。

A 産業建設課長 橋の耐力度調査の結果を受けて今年度の春から通行止めをしています。開発との協議を色々しておりますが、開発が直轄で老朽化対策を行う場合は、事業費下限があり、橋だけを単独で整備するには町費で実施しなければならぬ関係で、橋だけではなく道路護岸、物揚場も合わせながらの実施を要望中です。調査費を予算要求しからの工事となるので調査費は平成28年度辺りになるかと思えます。何とか軽自動車だけでも通す方法はないかという事で現在、開発や民間のコンサル等の協力を得ながら模索している所です。

Q 再質疑 利用者は相当不便を感じています。事業費下限は理解していますが、以前に鴛泊港と港湾統合した時に緊急時には鴛泊港の予算を鬼脇港区に振り向けることも可能だという話もあったと思いますが、その辺の対応はどうなのか再度答弁願いたい。

A 産業建設課長 色々な案がないかということで鋭意調べています。振り向ける事業

費があれば開発の方も対応してくれるでしょうが、そういう財源が無い中で考えていただいております。私達にも不便だという声は届いておりませんので、1日も早い対策を講じたいと考えています。

Q 伊藤議員 プレミアム商品券について、商工会からの要望という事で補正計上したと思うが、地域活性化のために補助金を出す以上は、出す側としての意見や注文を述べながら地域活性化という命題に沿ってほしいと思うが、その辺の内容はどうか。

A 町長 平成21、22年にもプレミアム商品券を実施しましたが、当時も町の補助金というのは町民のために補助して、その効果を高めてもらうということと実施しており、今回も補助するものです。町民のための補助ですから、商工会に入っていない全部の商店等にしてほしいということとを伝えておりますし、手数料を貰うような話もありますので、手数料が発生するのであれば、終わった後にダブルチャンスという再度抽選をして、それを町民に還元するというのも考えて欲しいと申し上げ、

げ、商工会の方から了解を得ています。何とか成功するよいう商工会と一緒にやっていきたいと思っています。

Q 米谷議員 プレミアム商品券について、今回は消費税アップなど色々な要件があり、今回の実施に繋がったと想像するが、商工会から今後何年後かに同じような要望があれば補助するのか確認したい。

A 町長 まだ、予算を議決して頂いてないが、過去2回の例を見ても大変好評だという事では、今回もそのようになると思っております。今後とも話ができれば前向きに話し合いたいと思っております。



Q 長岡議員 教育費、利尻高校商業科校外活動補助金で両町半々での計上ですが、ど

のような校外活動なのか。

A 教育委員会次長 利尻高校では魅力ある商業科を目指して数年前から色々な取り組みを実践しており、26年度はその前身として商業クラブが立ち上がりました。そのクラブの活動に対する補助金ですが、商業を学ぶ生徒の育成・促進のため専門的知識や技術の習得ということで、全道規模の商業科生徒を対象としている大会に参加させたいと思っています。商業クラブの生徒引率教員の大会参加費が主なもので、利尻富士町と利尻町が265千円ずつ負担、それとPTAの補助金をもって今年度各種大会に臨みたいという事で要望があったものです。

Q 再質疑 大変良い事だと思えます。予算書を見たときに地元の校外活動、利尻島の地域に対する校外活動かと勘違いしましたが、その資格、技術を発表するため全道へ行くという理解で良いか。

A 教育委員会次長 今回の補助の内容は、ワープロ、珠算、電卓の2部門への参加。商業フェアへ参加し、地元の特産品を持ち込んで販売等を行って経験を積ませたいとい

うことで、あくまでも島外に出るの活動を予定しての申請です。

討論Ⅱ賛成Ⅱ

Q 戸嶋議員 この度のプレミアム商品券の補助申請については、過去2回のプレミアム商品券の販売は手数料を貰っていませんでしたが、今回はダブルアップということで、商工会会員以外の方からは3%の手数料を、商工会加盟店からは1%の手数料を貰うことにしています。その手数料でプレゼントを用意しダブルチャンスをとということで、商工会としても町の補助金に頼るのではなく、自らも負担しながら活性化のため頑張ろうという事ですので、私も商業に身を置く立場ではありませんが、プレミアム商品券事業補助金に賛成します。

原案可決

▽平成26年度港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)

〔補正内容〕

補正額83万3千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ3322万9千円とする。

質疑

Q 長岡議員 雑入の広告料収入で800千円補正されているが、ターミナルに新しく設置された名水ファクトリー1点と理解して良いか。

A 産業建設課長 その通り1点で800千円です。

Q 再質疑 大変良い広告料だと思えます。まだスペースがあるわけですが、後何点か広告を出してくれるところがあれば積極的にこちらからPRしながら収入増を図る考えはあるか。

A 産業建設課長 この広告を募集した際に3件からの申し込みがありました。結果的に一番高額なところに決まりましたが、その他の2件についてもまだ募集している所があると声掛けはしていますが、あまり目につかない場所ということとで断られている実態もあります。今後ともアプローチはしていきたいと思えます。

Q 飯田議員 関連質疑になりますが、フェリーターミナルが3月に供用を開始し、港オアシス、海の駅にも登録されています。北海道の離島では初のエスカレーターやボー

ディングブリッジが付いた施設が整備されました。それらを網羅したパンフレットのなものを作る予定はないか。

A 産業建設課長 現時点では予算も絡むことであり、パンフレットについては特に考えていません。ただ、要求があれば自分達で作った説明資料、写真などを添付した資料がありますので、それらを活用している状況です。

Q 再質疑 オリジナルの資料を先日拝見しました。あれだけ立派な施設であれば、例えば全国の議会から行政視察等が来た場合、あつた方が良いのは当然だと思います。予算の関係もあるかと思いますが、せっかくの施設ですので理事者と相談して検討していただきたい。

A 産業建設課長 港オアシスも海の駅も初めて運営することになりますし、活性化協議会とも相談しながら今年初めてチャレンジするものもあります。対外的にPRするのであれば、そういうものも盛り込んだ方が良いのかなという考えもある中で、変更があれば改正も加えなければならぬという事情もありますので、理事者と相談してまいります。

ます。

原案可決

報 告

▽**株利尻島振興公社の経営状況の報告**

〔内容〕 地方自治法第243条の3第2項に基づき、平成25年度決算並びに平成26年度事業計画等が議会に報告されました。

▽**利尻富士町新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について**

〔内容〕 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、万が一の発生に備え町全体の体制を整備するため、行動計画を策定したことが議会に報告されました。

意見書

※次の意見書は、定例会6月会議で原案のとおり可決し、関係行政庁へ送付しました。

◎**手話言語法（仮称）の制定を求める意見書**

◎**地方財政の拡充を求める意見書**

◎**安心できる介護制度の実現を求める意見書**

定例会7月会議

〔7月3日〕

財産の取得契約

▽**ロータリー除雪車の取得契約**

約について指名競争入札による契約を締結する
契約金額 3607万2千円
契約の相手方 稚内市はまなす3丁目3番11号
吉川自動車工業株式会社
代表取締役 竹内 仁
原案可決

定例会6月会議

一般質問

6月20日開催の定例会6月会議において、2名の議員から町行政に対する一般質問がありましたので、要旨をお知らせします。

敬老祝い金の支給について



安 楽 昌 弘 議員

る方もいると聞き、その恩恵も薄れがちになっていいると感じています。高齢者は、介護保険料、医療費、健康保険料等の負担部分がアップし、一方では受給する年金等がカットされるなど、正に収支のバランスが反比例している状況にあると思っております。また4月からの消費税3%アップは収入が少ない高齢者にとつては大幅な物価高を肌で感じているのではないのでしょうか。そこでせめて「思いやり」の心を我が町の礎を築いた高齢

者に捧げてほしいという意味からも、また消費税が3%増になったこの機会を捉えて、現在5年間の敬老祝い金1万円を1年あたりに換算すると2千円になります。消費増税分を加味し、毎年3千円程度の金額で商品券や米券を敬老会の案内状に同封し、敬老祝い金を受給している実感を感じ、町長「思いやり」として高齢者が感じることでできると思いますが、見直しを行う考えはないか伺います。

町 長 現在の敬老祝い金

条例では、高齢者に対しその長寿を祝福するとともに、社



会に貢献した労をねぎらい合わせて町民の敬老思想の高揚及び豊かな長寿社会の確立を図ることを目的として75歳を基準に以後5歳ごとの支給で一部所得制限もありますが、祝い金の額は1万円となっており、この制度は平成18年度から実施しており、8年が経過しています。現制度以前は年間総額約8百4、5十万円ほどを支給していましたが、現制度では年間約1百5、6十万円まで推移しており、この間町民の皆様、とりわけ70歳以上の方々のご理解には今でも深く感謝申し上げます。平成15年度からの段階的な支給年齢の引き上げ、また、平成18年度からの現行制度に変わるたびに敬老会や地域懇談会等でも町民の意見を伺ってまいりましたが、皆さん協力的で私は現制度が定着しているのかなと思っております。国の社会保障制度の問題や消費税増税の影響等高齢者には厳しい状況でありますが、これはどの世代にも生活面での厳しさは実感として抱いていると思います。地方に厳しい時代を乗り越え、町村合併問題を経験し、10年前から始まった行財政改革によ

つてあらゆる見直しを行い、町民の皆様は不平不満もあつたと思いますが、町民の方々、町議会のご理解の下に厳しいながらも少しは安定した財政運営を行っていると思っております。先行きは不透明ですが、安定した行財政運営を執行して行くためには、築き上げてきた町民との信頼を大事にし、また行政の継続性を大事にし、ながら進めなければと思っております。最近の数字でいるところであり、ご質問の趣旨に変更するのは現段階では難しいと判断しております。

再質問 確かに老人福祉費というのは年間6312万8千円と巨額になっております。しかし5年ごとの祝い金となれば今年貰っていても5年後には亡くなる方もいるのではないのでしょうか。色々な面での負担が多くなっている状況の中で、毎年の2千円に、千円くらいプラスできないか。そして毎年支給という事は無理なのか。事務的には相当煩雑な部分もあるかと思えます。問題は財源の事だと思えますけど、その辺もう一度答弁をいただきたい。

町長 敬老祝い金は該当

者に毎年支給しておりますので事務的には負担にならないと思えます。米券或いは商品券について、敬老会の案内状に同封してはということですが、これについては金券でするので、本人の手元に届いたかの確認も含めて事務の煩雑化も予想されますし、金券を送ることの問題も発生するのかなと思えます。最近の数字で75歳以上の方々の人口は615名ですから、1人に千円増やしても61万5千円が増える

ことになりませんが、それが財源的に多いか少ないかは別にしまして、私なりに敬老会や懇談会等で対象者に聞いてみましても、皆さん行財政改革に協力的な考えであると判断し、また、敬老祝い金だけに関わらず、他にも町が手当てしているものもありますので、この町の持続的発展を考えながら、私なりに今の制度が定着していると判断して、今後

も継続して行きたいと考えています。実施されておりますが、子ども達に土曜日における充実した学習機会を提供する方策の一つとして土曜授業を捉え、公立学校において当該学校を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める場合は、土曜日等に授業を実施することが可能であることを明確化して法律を改正し、平成25年11月に公布・施行されたところであります。土曜日の教育活動の形態には3種類あり、一つ目は児童・生徒の代休日

小中学校の土曜授業について

安楽議員 土曜授業をめぐっては、文部科学省が昨年の9月に実施要件を緩和し、市町村の教育委員会の判断で実施できることを決めたようですが、北海道新聞社が実施した全道179市町村のアンケートでは18%（33市町村の教委）が検討するとの回答をしている反面、78%にあたる140市町村教委では、週休2日制が定着しているなどとして、「当面、検討する予定は無い」と回答されたようです。オホーツク管内の小清水町教委では、4月から小中学

校で月1、2回実施しているようであり、また宗谷管内では唯一稚内中学校が文科省の「土曜授業推進事業」の実施モデル校の指定を受けたようでもあり、このような状況下で、我が町の小中学校についてどう考えているのか父兄をはじめ町民の皆様も関心があるかと思えますので、今後の小中学校の土曜授業について、教育長の所信を伺います。

教育長 学校週5日制は平成4年9月からの段階的実施を経て、平成14年度から完全実施されておりますが、子ども達に土曜日における充実した学習機会を提供する方策の一つとして土曜授業を捉え、公立学校において当該学校を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める場合は、土曜日等に授業を実施することが可能であることを明確化して法律を改正し、平成25年11月に公布・施行されたところであり、土曜日の教育活動の形態には3種類あり、一つ目は児童・生徒の代休日

教育とは違う環境の中で子ども達の成長を育む重要な機会と捉えており、先ほど説明した三つ目の土曜学習を既にやっていると言えます。今後、土曜授業の実施については、学校職員の週休日振替等の課題もあり、文部科学省が今年度実施している土曜授業推進事業の成果や問題点を参考とし、土曜日等の教育、スポー

人口減問題について



戸嶋 郁夫 議員

戸嶋議員 最近、宗谷管内ばかりではなく全道、全国的な懸案として、少子・高齢化等の進行による限界集落の激増と人口減に伴う問題が将来必ず起こり得ることが予想されています。それに伴い、町理事者、職員が一丸となり漁業後継者、医療・福祉、産業、住宅、教育問題など、様々な分野でその対策に取り組んでいるものと思いますが、

ッ活動等の状況など学校や地域の実情、児童・生徒の負担等も踏まえ校長会やPTA等の意見も聞きながら適切に判断してまいりたい。

再質問 今後とも教育行政が子ども達にとって一層良好な環境づくりとなるよう尽力いただくことをお願いして質問を終わります。

しかし「ふるさとの元氣と輝きを求めて」を将来像に掲げる、新まちづくり総合計画の10年マスタープランばかりではなく、20年、30年先を見越した施策を行政内各部署が一つに纏まり、共通の認識を持ちながら、後世の青少年に何が残せるのかを一大プロジェクトとしてチームを作り、積極的な取り組みを早期に実施しなければならぬと思うが、我が町の将来を見据えた町長の所信を伺います。

町長 本年5月に日本創生会議というところが、2040年の総人口を発表し新聞報道されましたが、その中で

利尻富士町の人口は、1243人で内20歳から39歳の女性は84人と町が消滅する可能性があると指摘された内容を見て衝撃を受けたところであります。本町の平成16年から平成25年の過去10年間を見ても423名が減少しており、年間40名から50名減少している実態であります。町民の皆さんも懸念している問題であり、本年の新春座談会や商工会青年部との懇談会でも話題となった事柄でもあります。

懇談の場では私は、人口増加は至難のことであり、いかに人口減を最小限に留めるか、鈍化させることが重要であるかを申し上げております。住み続けてもらうための施策、住んでみたいと思われる施策が大事であり、人口減問題ばかりではなく行政全般を網羅した様々な分野での取り組みが必要であり、それが結果的に人口減問題に繋がると思っています。子育て支援、高齢者対策、若者定住策、移住対策、地元産品を活用した産業創出、産業活性化による所得向上に伴う定住・移住対策など多くの施策があると思いますので、一つ一つを検証しながら積極的に進めてまいりたいと

思います。ただ、質問の一大プロジェクトとしてチーム作りとありますが、人口減問題は現状の仕事の中で常に直面している課題であり、各部署それぞれが現況で対応できると判断しており、今後も一層連携を強めて取り組んでまいりますのでチームを作ることには現段階で考えておりませんが、外部から見た利尻島、利尻富士町の姿、また、あるべき姿といった話を聞くため懇話会的なものを立ち上げてみたいと考えています。直面している人口減少は行政や産業、経済すべての分野において大きな課題であると深く認識しており、予算措置を含め議会、町民の方々のご意見を聞きながら進めてまいりたい。

キャンプしながら養殖昆布の手伝いをしてる若者達を見かけることもあります。島外からの人材を確保するための住宅、雇用促進住宅などを整備することも大事ではないかと思えますし、将来の利尻のために今から投資することが必要とも思いますが、再度町長の答弁を願いたい。

町長 雇用の場を確保するという事自体が難しい時代の中で、人口減による影響というのは行政や経済や産業に多大な影響があるという事は重々理解しています。人口増に繋がる諸施策の推進というのは相当厳しいものがあるという思いもあり、いかに減少を食い止め鈍化させることの方が大事という事で先程の答弁をしております。子育て支援、若者の定住も考え、今後色々な話を聞きながら、できるものはどんどん進めて行くと考えています。町が存続して行くためには人口増というのが一番良いとは思いますが、果たして今の段階でそのような施策が打ち出せるか難しいものがあると思っております。ご理解を賜りたい。

再質問 発想として人口を減らさぬ努力をすることは大事ですが、増やすという考え方をもち、新たな展開をしていくことも重要だと思えます。そうしなければ漁業、観光等々がどんどん先細りになっていくことは目に見えて明らかです。衣食住と考えると働きたいけど住むところもないということで大変困っている方もいると聞いています。キ

行政報告

6月20日開催の定例会6月会議において、町長より「利尻空港の利用状況について」ほか3件について行政報告がありました。

◎利尻空港の利用状況について

利尻・丘珠間（HAC）は、3月は往復1449人で搭乗67.1%。4月は往復1327人で搭乗率65.8%。5月は往復1640人で搭乗率73.5%。平成25年度の搭乗実績は1万7423人で搭乗率69.6%となりました。

◎利尻空港利用のチャーター便について

JAL便が8月17日に岡山―利尻、19日に利尻―旭川経由で岡山へ運航予定です。ANA便が9月7日と8日の2日間、新千歳―利尻―中標津間。中標津―利尻間をそれぞれ2便運航予定です。また、

HAC便が8月9日から17日までの9日間、午前中臨時便を運航します。

◎平成25年度一般会計、各特別会計の収支状況について
一般会計は、3332万9千円が黒字となる見込みです。特別会計（10会計）合計では、1118万円の黒字となる見込みです。

◎消費増税に伴い支給される臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金事業について
定例会3月会議で議決頂いた当給付金事業のスケジュールについては、6月25日から対象者へ申請書の送付をし、7月1日から申請受付を開始、7月下旬から支給開始できるよう進めております。



行政報告を行う田村町長

委員会レポート

5月26日 総務民教産建常任委員会
6月13日 広報・広聴常任委員会

◎総務民教産建常任委員会

①観光施設等管理状況調査
調査した12箇所の管理状況については概ね適正に管理されていると認められる。これから観光最盛期を迎えるが、草刈等環境整備には十分配慮して観光客の受入を遂行していただきたい。

なお、本会議でも質疑されている所であるが、オタトマリ沼駐車場トイレについては、早期に整備実施が特に認められるため、財産を所有している北海道に要望していることは承知しているが、整備実施の予定が立たないときは、本委員会としても町理事者と共に関係機関に対し積極的に要望活動等を展開する用意がある。

ることを町側に伝えるものである。

○映画「北のカナリアたち」ロケ地（大磯ポロフンベ・富士野園地）に看板が設置されているが、映画で使用した建物、道路等についてもロケ地であったことをPRできる看板等の設置を望む。

○ファミリーキャンプ場「ゆ〜」については、北麓野営場に設置されているような施設内を周知する看板等の設置を望む。

○ペン岬展望台については、展望台までの道路については近代的工法をもって最近整備された道路であることは理解するが、利用者の安全性が確保されるよう再調査を望む。

○「姫沼」については、駐車場トイレ屋根に木が覆いかぶさっている箇所が一部見受けられるので、屋根の腐敗防止のためにも対策を望む。

○野塚展望台については、草刈が必要と思われる。また野塚・姫沼両展望台の表示板の表示が剥がれている箇所もあるため対策を望む。

○沼浦展望台については、展望台表示板の文字が一部剥がれているため対策を望む。

○オタトマリ沼については、棧橋、レストハウスのデッキについては、経年化により安全性を損なう箇所も認められるため早期対策が必要である。

②利尻富士町鴛泊市街地整備計画マスタープラン及び鴛泊市街地街なみ環境整備方針内容等調査
鴛泊市街地道路拡幅事業と連携した魅力ある町づくりに向けて長期的視野に立つてのマスタープラン及び整備方針であるが、関係者の著しい努力により夢多い青写真が完成したことに心から敬意を表します。

諸事情による事業遅延が懸念されるが、本事業を計画的に推進することが町を活性化させる起爆剤となることは必定であり、本委員会としても理事者、関係者と一体になり予算確保等の要望活動を積極的に展開する用意があることを町側に伝えるものである。



- ◎ 広報・広聴常任委員会
- ① 議会だより利尻富士 No. 16
- 3 の編集についての調査及び協議

② 意見交換会の開催について
鬼脇・鷺泊両地区で開催したが、参加者から出された意見提言等は別紙記載（下段に掲載）のとおりである。

特に、鬼脇地区住民から提言された、「議会だよりも含めて、町広報誌、お知らせ利尻富士の文字が小さく高齢者には判読できないこともあるため改善願いたい。」「議会開催の様様を鬼脇支所等のTVで傍聴することはできないか。」の2件については、高齢者等に優しい行政の推進、また鬼脇地区住民が支所等で議会を傍聴できる機会を得ることは、議会改革推進の一環としても大変重要であるため、当委員会としてもその対策について配慮いただくことを町側に求めるものであります。



「議会報告・意見交換会」を開催

前号でお知らせしましたとおり、町民の皆様からのご意見等を直接聴く場として「議会報告・意見交換会」を鬼脇・鷺泊両地区で開催しました。お集まり頂いた皆様方から出されました意見の要旨を掲載させていただきます。

なお、議会報告・意見交換会は広報・広聴常任委員会が主管し開催しておりますが、参加者の皆様から出されました意見、提言については、町議会定例会6月会議で所管事務調査報告書として町側にも配布しております。

※議員の発言・答弁は掲載しませんが、お知りになりたい方は議会事務局までお越しく下さい。

意見・提言概略

- 本年3月から通年の会期になったが、議員が時間に拘束されるのでは。今なぜ通年議会なのか。費用的な面はどうか。
- 通年議会にしなくても十分議会活動ができるのではないか。
- 傍聴に行けない鬼脇地区住民のため、議会を鬼脇地区で開催したり、ナイター議会や休日議会を開催することはできないか。
- 議会報告会を開催した目的は。資料を見ると全項目が全会一致で可決されているようだが、本当に全て全会一致か。
- 救急車を鷺泊、鬼脇交代で配備できないか。
- 議会だよりも含めて、町広報誌、お知らせ利尻富士の文字が小さく高齢者には判読できない。
- 過去にウニ殻の問題で質問をした議員がいたが、今でもウニ殻の問題に立ち向かう情熱は持っているか。
- 議会広報のあり方について、検討を要するのではないか。
- ペシ岬の道路をあのまま使用させることに議会としてどう思うか。
- 消防庁舎が老朽化しているが、建て替えの話はないか。
- 鬼脇地区は高齢化が著しい地域であるが、地域内にある「空き家」を町で購入し、リフォームして若い人達に賃貸してはどうか。
- 町の産業は漁業と観光であるが、高齢化が著しく進行しており、海の資源も枯渇している。これを打破するための議員としての考えがあれば披露してほしい。
- 今回このような懇談会が開催されたことは大変意義深い事と考える。今後も開催していただきたい。

議 会 日 誌

6月

- 22日 鴛泊保育所運動会
- 27日 利尻礼文消防事務組合臨時議会

7月

- 3日 定例会7月会議
- 4日 宮城県黒川地方町村議会議長会行政視察
北海道町村議会議員研修会
(札幌市、正副議長外各議員・事務局)
- 9日 新潟県新発田市議会行政視察
- 14日 福島県会津若松市議会行政視察
- 17日 全国離島振興市町村議会議長会理事会
平成26年度第1回総会並びに懇談会
(東京都、議長)
- 23日 埼玉県本庄市議会行政視察

8月

- 7日 島根県安来市議会行政視察
北海道議会議員視察
- 23日 利尻島一周ふれあいサイクリング交流会
- 27日 総務民教産建常任委員会
- 30日 利尻島鬼協会総会・懇親会 (札幌市、議長)

9月

- 2日 福島県下郷町議会行政視察
- 14日 消防団活性化事業
- 16日 東京国際フォーラムジャパンプレミア
(東京都、議長)
- 22日 広報・広聴常任委員会
議会運営委員会
- 29日 定例会9月会議 (至30日)

長岡俊裕議員 自治功労表彰を受賞

永年にわたり、地方自治の振興発展に寄与した功績を讃えられ、自治功労者として北海道町村議会議長会より長岡俊裕議員（※議員として25年以上）に表彰状が贈られ、定例会6月会議開催前に議長より伝達されました。



※(※議員として25年以上とは)
議員換算年数で計算され、(議員年数)+(副議長年数×1.5)+(議長年数×2.0)となる。

あなたの声を 議会だよりに!

議会・広報広聴常任委員会ではみなさんのお声をお待ちしております。

■宛先■

〒097-0101 利尻富士町鴛泊字富士野6番地
利尻富士町議会事務局
TEL(0163)82-2512
FAX(0163)82-1253
E-mail gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp

議会の 予定

- 11月 総務民教産建常任委員会
広報・広聴常任委員会
- 12月 議会運営委員会
定例会12月会議

※議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局にご確認下さい。

編集後記

町民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。「今まで経験したことが無い。五十年に一度」等々、近年の異常気象を象徴する言葉を頻繁に耳目することが多くなりました。広島市の豪雨による土石流災害によりお亡くなりになられました方々、そして住家等甚大な被害に遭われました被災者の皆様にお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、礼文町で発生した土砂災害により二名の尊い命が奪われてしまいました事につきまして衷心より哀悼の意を表し、昼夜を問わず復旧作業に心血を注がれている礼文町関係者の皆様にお見舞いと心からなる激励の言葉を申し上げます。

さて、早いもので二大産業である漁業・観光のシーズンも終盤を迎え、ウニ・ノナ漁は終漁となりましたが、漁業も観光も十月以降の活況に大いに期待している所であり、一方、国政に目を転じますと九月三日、第二次安倍改造内閣がスタートし、大きな目玉政策として「地方創生」が謳われていることは町民の皆様もご承知の事と思います。今後どのような政策が展開されるか大いに期待されているのではないのでしょうか。そんな期待をよそに、消費税率の10%への引上げを経済状況等を総合的に勘案した上で年内に判断するとしています。皆さんの家庭の経済状況はいかがですか。増税には国内賛否両論あるのかと思いますが、異常気象によるこの雨が、来年の産業に恵みの雨となって、増税に耐えうる所得向上につながることを願うばかりです。

利尻富士町議会

広報・広聴常任委員会一同